

Community Design Cafe

コミュニティ・デザイン・カフェ(CDC)

たくさんの人が集い、「コミュニティ」を「デザイン」する
そんな「カフェ」のようなセンターを目指します

CDC News Vol.038 2009.12
生きがいしごとサポートセンター-阪神北

ほたるの館でNPO法人設立講座・ 相談会を開催しました センター長 吹曾 幸雄

“去る12月5日（土）養父市奥米地のほたるの館で、生きがいしごとサポートセンター-阪神北の出前講座として「NPO 法人設立講座・相談会を開催しました。

この事業は、中間支援組織のない但馬地域で、NPO 法人の設立等コミュニティビジネスの起業を支援することにより、但馬地域の活性化に貢献することを目的としています。

今回は、「奥米地ほたるの里づくり協議会」のご依頼により、NPO 法人設立の要件・LLPとの違い、特定非営利活動事業と営利事業の相違点等についてご説明致しました。

同協議会は、近年、奥米地を訪れる人が減少したことに危機感を持ち、法人格を取得することをバネに、都市と農村の交流を盛んにして、ほたるに代表される奥米地の素晴らしい自然環境と心やさしい村人とのふれあいの中で、ほたるの館、天体観測所等の自然体験施設の運営を安定的・継続的に実施するため、NPO 法人の設立を決意されたのです。

宿泊もできるほたるの館は、旧養父町役場を移築した大正ロマンあふれる建物です。

ここで、2週間前に公募に応じて芦屋市から移住されたという気さくな支配人のご夫婦にお会いしました。

ほたるの館



奥米地の自然環境がお気に入りのご様子、お二人のご活躍をお祈りしています。

今回、奥米地ほたるの里づくり協議会に私どもを紹介して下さったのは、朝来農林振興事務所の平岡幹朗氏です。今後、NPO 法人設立認証申請書類等の作成に向けてご協力下さることになっています。

ほたるの館等の施設は、養父市の所有で、同協議会が指定管理者として運営されていますが、設立時の約束で、市からは、管理料をもらっていないのです。施設の敷地も半分は、村が出したもので、ほかに各戸からの拠出金により、これら施設の運営等にかかわってきたのです。

都会では考えられないことですが、行政に頼らず、自分たちで出来ることは、自分達でやるという気風が根付いていることに、頼もしさと新鮮な驚きを感じました。

宝塚NPOセンターが奥米地の発展のお役に立てたら幸いです。

～より豊かな仕事づくりを目指して～

収益 UP 計画を作ろう

セミナー&ワークショップ報告

11月11日・18日・12月2日の計3回障害者の作業所さんを中心に工賃 UP 計画書作成を目標にしたセミナーを開催しました。

このセミナーは、不況で企業からの内職受注が激減し、収入が減って困っているという NPO 経営者さんたちのお声に応えるべく、今年新規に企画したものです。大阪府工賃倍増計画推進事業のス



ーパーバイザー・高見一夫さんを講師にお招きし、工賃 UP 計画シートの提案から作成アドバイス、「福祉」から「商品」への

転換ポイントや企業の CSR ニーズにどうアピールすれば成功するかなど、事例も盛りだくさん。企業内授産から業務委託や就職への可能性もあるといった話にも興味津々。CB としてのサービス拡充の可能性の話では、事業化ヒントとなった方も多かったようです。

ゲストスピークには兵庫県で最も面白い作業所として名高い NPO 法人いねいぶる理事長宮崎宏興さんに「わたしたちの街と作業」というテーマで

お話いただきました。兵庫県たつの市で90人の登録、毎日40人の利用者、年齢も障害もバラバラ。それを強みと捉え利用者さんの日常感じている不



足感や不自由感を「話し合いは遊び」と楽しみながら毎朝会議の中で事業化していくプロセスと実績にはびっくり！自然体で行政や地元企業、医療機関や大学など他団体とつながりながら、地域支援システムを拡充中。講座終了後も名刺交換&情報交換が1時間近く続きました。

最終回には、各事業所から事業項目毎の損益をチェック。NPOらしく収益性だけでなく、将来性と社会的意義も指標に入れます。事業所さんからは「よく売れてると思ってたものが実は赤字だったとか、休止状態のものが利益が大きかったりや意外な発見があった」「利益という言葉の意味をはじ

めて理解した」「現場のスタッフ全員と話し合え、認識を一致させられたのがよかった」などの感想をいただきました。

楽しい・やりがい・そして収益。これら3つが揃ってはじめて組織は前進するのかもしれませんが。講座は終わりましたが、これからはシートの改善計画に沿って、それぞれの事業所が前進されていくと思います。イキサポの専門家派遣やインターンシップ制度も活用して、どんどんおもしろい作業所にしてください！応援しています。

就職おめでとう！ 若者が若者支援職へ！

二葉大樹さん 宝塚市内中学校の生活指導員として教育委員会に10月に就職（緊急雇用）

就職相談に来た時の彼は、大学を中退後飲食店でバイトしながら、それでも子どもとの関わる仕事



への夢が捨てられずにいました。不登校支援団体でのボランティアを紹介中に現在の仕事の求人が来て問い合わせると「先生というより兄貴的な存在求む」とのことだったので、彼にはぴったり！と勧めました。現在職場ではパトロールと一部の学習指導を担当。

子どもと追いかけてこのよう日々だそう。自分も学生時代やんちゃをしていたという彼だからこそ、いい兄貴として頼られている様子。日本では珍しいユースワーカーは大活躍で、本人も「疲れるけどおもしろいっす」と充実感満載。現場でキャリアを積んで、大卒資格にもチャレンジするそうです！がんばれ！

久恒充子さん 宝塚市立大型児童センターに思春期ひろば担当として7月に就職。（緊急雇用）

宝塚市若者しごと相談広場から「社会貢献したい！って元気な子がいるから、そちら（宝塚 NPO センター）の方が相談にのれるかと思って」と紹介されてきた久恒さんは、海外青年協力隊での二カラグア生活、帰国後は国際協力の社団法人に勤める等やりがいはあるも体力的には厳しい世界に少しおつかれ気味。ワーク&ライフバランスをとりながら社会貢献できないか、と相談中にこの求人が来て、経歴や人柄で見事合格。現在、不登校やひきこもりに悩む子どもと親の居場所運営、理解を地域



ぐるみで 深めるための勉強会やセミナーを開催中です。久恒さんの経験をぜひ子どもたちの多様な生き方サポートに活かしてください！（白水）

経営を考え、継続できる NPO になるために
「私たちの未来図を語ろう！」
1泊研修会を開催しました

12月19～20日、毎年恒例の宿泊研修を実施しました。今回のテーマは『未来図』。

毎日の活動をしっかり運営することはもちろん大切ですが、「今のこの活動は、何をめざしてやっているのか？」が分かっているのと、いないのとでは大違い。

そこで、いっそのこと私たちの10年後はこうなりたい！を考え、発表することで、自分の団体のビジョンが明確につかめ、課題もみえてくるはず！という企画です。

最近少なくなった宿泊型の研修会ですが、日頃忙しい毎日過ごしているNPOの皆さん。2日間缶詰状態になるのは、じっくり考える時間を確保できるという意味でも願ってもないチャンス！…と、言う訳で21名の皆さんの参加でスタートしました。

一日目 ワークショップ：未来図を語る

★「未来を語るまえに、今年を振り返る～我が団体の5大ニュースはこれ！」

皆さんの団体発「5大ニュース」を発信すると、どんなことでしょうか？を考え、新聞記事の見出し風を書く、というワーク。



新聞記事風というのがミソですが、「これから」を考えるには、「これまで」の振り返りも大切です。う～んなんだろう…と、頭をひねりながらも、新聞記者気分でなかなかいい出来でした。例えば、「運転資金ピンチ！新たな助成金にチャレンジ」とか、「酒も〇〇も止めます。事務局長の決断の裏には??」などなど。

そういえば、あのときこんなことがあったから、その結果として今があるのですね。

★「なぜ、未来を語るのか？」

関西人の私たちにとって、CMでおなじみの「蓬莱の豚まん」風にいうなら、未来図がある時はこうで、ない時はこう、と比較して考えるとわかりやすかったです。

未来図（目標）の意味とは？⇒⇒



★いよいよ本題「私たちの未来図を書く」

活動は、自分たちの中だけで完結できるわけではありません。社会全体の変化はニーズにも大きく反映されることを念頭に置いて、まず予想しやすい「3年後の目標」と、「この目標実現のためにすること」を各自考え、語りました。やはり中期事業計画は必要というのが皆さんの結論でした。

発見だったのは<組織＝求心力の源>という一言。あ～そうだったんだ！！

★報告会：「中期事業計画作成支援を受けて」

今年度コンサルタント支援をした4つのNPO法人から、作成しようと思った動機、苦労した点や難しかった事、今後どのように活かそうと考えているかなど、報告をしていただきました。

【中期事業計画を受けての変化】

1. 事業計画があることで、誰がいつまでにするのか明確で仕事がやりやすくなった。
2. 周りからもサポートを得られやすくなった。
3. 目先の行事だけでなく、先の展望をもてる。
4. 作成したシートを今後も活用したい。

二日目 講座＆ワーク：事業計画作成のコツ



昨日のワークを踏まえ、いよいよ具体的な計画のつくり方を学びます。まずは現状の把握。

「自分の団体の課題は何ですか？」⇒ビジョン

こそ経営のカナメ⇒ビジョンを描こう⇒実現の方法を考える・・・と続きますが、それはまた次号にてお知らせします。

講座・相談のお知らせ

◆印の実施場所は宝塚 NPO センター/生きがいしごとサポートセンター阪神北です

◆実務講習：「NPO会計個別相談会」1月21日(木)、2月17日(水)、3月18日(木)

相談料：2,000円(会員1000円) ※各時間帯で事前予約ください

①10:30~11:45 ②13:15~14:30 ③14:45~16:00

④16:15~17:30

会計専門家と1対1で相談できます。支払調書、決算等のご相談もどうぞ

◆NPO法人設立講座：1月27日「魅力あるサービス作り・収益UP計画作りセミナー」(全3回、水曜日)

参加費(資料代含む)：1000円

☆NPO事業報告作成：「丹波地区 法人設立相談会」11月予定

場所：朝来市和田山町 参加費：無料 (詳細はお問合せください)

◆阪神 NPO 連絡協議会 月例会：2月10日(水) 15:00~17:00

(見学もできます。ネットワークを結びたいNPO団体の方は是非どうぞ 資料代:500円)

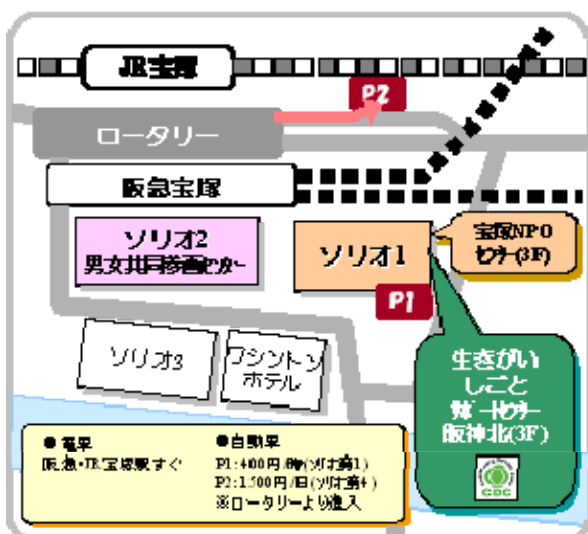
※最新の講座案内はブログでご覧になれます(「阪神NPOネットワーク」と入力ください)

活動分野を越えたゆるやかなネットワーク組織『阪神 NPO 連絡協議会』会員募集中！！

■ 編集後記 ■ 前号でインフルエンザの心配をしていたら、またもや本格的に大流行の恐れとの報道。その間に政権も交代し、日本の仕組みも世界の情勢もすごいスピードで変化していますね。ワクワク感がある反面、わたし、時代についていけるかな~なんて不安も感じる今日この頃です。で、皆さんは？ 🙄 (T)

お知らせ ■ 過去のニュースレターはホームページからご覧いただけます。

<http://voluntary.jp/hnpo-net/>



生きがいしごとサポートセンター阪神北
 ~コミュニティ・デザイン・カフェ(CDC)~
 〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F
 TEL 0797-87-4350 FAX0797-87-4351
 E-mail cdc@hnpo.net/
 URL <http://voluntary.jp/hnpo-net/>
 (阪神 NPO 連絡協議会も同上)



(特) 宝塚 NPO センター
 〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F
 TEL 0797-85-7766 FAX0797-85-7799
 E-mail zukanpo@hnpo.net
 URL <http://voluntary.jp/zukanpo/>

「生きがいしごとサポートセンター阪神北(CDC)」は、兵庫県「コミュニティ・ビジネス等生きがいしごと支援事業」の補助を受けて、特定非営利活動法人宝塚 NPO センターが実施・運営しています。同事業は、生きがいしごとサポートセンター播磨西、生きがいしごとサポートセンター播磨東、生きがいしごとサポートセンター神戸西(NEXT)、生きがいしごとサポートセンター神戸東(ワラビー)、生きがいしごとサポートセンター阪神南(UN)の6拠点にて運営されています。